



## 読者からの声

石川医報の「読者からの声」は、会員がいろいろな意見を交換する場です。  
ぜひ、皆様からのご意見、ご投稿をお待ちしております。  
(編集部より)

### 女性医師の窓

## 世界の動物園

金沢大学分子細胞病理学 中村 律子

週末や長期休暇で訪れる場所はひとそれぞれ。私の場合は旧跡より動物を見に出かけます。ここでは過去に訪れた各所を私視点で紹介します。記載内容の中には10年、20年近く前のものも含まれるため現在は飼育動物が異なる可能性があることをご了承ください。

**Cleveland Metroparks Zoo**：アメリカ・オハイオ州北部に位置する。約1年所属したクリーブランドクリニックの研究所からはそれほど遠くないものの、車のない私には隣町に遠出する感覚の場所。ネコ科動物がいた、小さいねこがいたはずだが記憶が曖昧。バードハウス内で上からトリの糞を落とされた記憶が強烈。

**Hazlehead Park**：イギリス・スコットランドにあるアバディーン大学には金沢に来る前に5年以上所属していた。自転車で郊外へ走ると家畜のウシやウマ、ヒツジが登場し始める。家畜でないキツネやウサギ、リスも見かける。少し北の川辺にはアザラシが休憩中。ある日いつものように自転車で遠出したときに（遠出のつもりが実は大学からそれほど遠くはなかった）、ゴルフ場やサッカー場、乗馬クラブなどを有する公園内に偶然動物エリアを発見。アルパカ、ロバ、ウサギ、マウス、ニワトリ…ここは研究所ですか？

**Highland Wildlife Park**：ネス湖で有名なインバネスの南およびアバディーンの西にあり草食動物のサファリパークのようなエリアがある。動物ひとりあたりの敷地面積が豊富で広大な草原の中に四つ足動物がぼつんといる。園の車で探索する中、草食動物だけかと思いきや突然ホッキョクグマが登場。別のエリアにはスコティッシュワイルドキャットがいる。イエネコとの比較説明の看板があるが見るからにイエネコ。スコットランドの山中で見かけても同定できない自信がある。ちなみにネス湖でネッシーは発見できなかった。

**Edinburgh Zoo**：スコットランド南部の大都市（スコットランド比較）にある。午後から始まるペンギンの散歩が目玉だったが、数年前にペンギンエリアの隣にパンダが登場。パンダ舎を、「なんだ？」と眺めるペンギンやパンダ待ちの人間の列に糞を投げるペンギンが確認されたらしい。アジアゴールデンキャットが高いところで座っていた。イエネコより大きい。

**Kölner Zoo**：大学最後の長い夏休み中に両親と訪れたドイツ・ケルンの動物園。サイが白人親子連れに放尿し命中。これ以外記憶なし。

**London Zoo**：ロンドン中心部にある。園内に入らなくてもキリンが見える。大型ネコ科動物が数種いた。さすがにイエネコとの鑑別は可能。

排泄物の話が多くなってしまいましたが、動物として必要不可欠なものをご理解いただければと思います。話は変わりますが、私は時々医師会臨床検査センター様の病理標本を診断させていただいております。もし名前を見かけましたら‘糞のひと’ではなく‘動物のひと’と思い出していただければ幸いです。